

## 各家庭で通学路の点検はお済みですか？

毎年、各学校とスクールガードリーダー、警察などで通学路の点検を行っております。しかしながら、各家庭やお子さんの状況に応じた対策も重要となります。以下に観点の一部を挙げております。これを基に各家庭で点検や備えを行ってみたいかがでしょうか。

### 【自然災害対応】

#### 〈豪雨対応〉

河川や側溝は、雨天時どのようになっていますか。

#### 〈地震対応〉

崩れやすい壁や家屋はないですか。

### 【不審者対応】

子ども110番の家等は、親子で確認済みですか。

### 【交通事故防止】

信号待ちの立ち位置は、車の巻き込みにあいにくい位置ですか。

大通りへの抜け道で、車が速い速度で通る道がありますか。



お気づきの点がありましたら、地域の小学校へ連絡してください。

## まひの窓おしの庭

No.71

### 輝く時のために

南九州市教育委員会学校教育課 参事(兼)指導主事  
山口 幸作(前大崎中学校 教頭)

「二月の雪、三月の風、四月の雨が、美しき五月をつくる」

素敵な<sup>てんきりげん</sup>天気俚諺です。天気俚諺とは、天気や天候・気候について、古来伝承されてきた経験則のことです。この言葉は、天候のことだけを行っているわけではありません。人間も、さまざまな困難や試練を糧として成長することで輝く時が必ずやってくるということを教えてくれています。

もう二十年以上前になりますが、ある部活の顧問をしていた時の話です。おっとりとして、運動経験もなさそうな一人の生徒が入部してきました。自分の想いをなかなか口に出せず、最初のうちは腕立てもできないような子でした。初めての試合では、緊張のあまり試合が終わってもコートから動けず、先輩が2人がかりで動かしていた

姿が今でも思い出されます。しかし、その生徒は誰にも負けない粘り強さがありました。少しずつですが技術の向上も見られ、試合でも勝てるようになってきました。そして、中学校最後の夏の地区大会。彼は、個人戦で1、2回戦と勝ち上がり、地区第1シードの選手との対戦を迎えました。結果は…フルセットで勝利、県大会への切符を勝ち取ったのです。試合直後の彼の恥ずかしそうな笑顔が涙でかすんだのを覚えています。

子どもたち一人一人に個性があり、成長のスピードも異なります。しかし、学んだこと、努力し続けたことは、その子がいずれ輝くための糧となります。その時が来るまで、我々大人は、温かく、そして根気強く子どもたちを見守り、励まし続けていきたいですね。